

未来を創る

# 2014年3月期 決算説明会

2014年5月21日



株式会社 ソニック



## 2014年3月期 業績ハイライト

---

2014年3月期の業績

(百万円)	12年3月期	13年3月期	14年3月期	対前年同期比
売上高	53,528	55,031	56,899	1,867
(売上原価率)	67.2%	69.6%	70.7%	1.1%
営業利益	5,495	4,021	2,651	▲ 1,369
経常利益	4,577	5,356	3,886	▲ 1,470
純利益	3,320	4,191	4,194	3

参考)包括利益: 13年3月期 7,000百万円 14年3月期 7,541百万円

14年3月期 期中平均為替レート

ドル: ¥100.17 ユーロ: ¥134.21 人民元: ¥15.87 バーツ: ¥3.19

参考)13年3月期 期中平均為替レート

ドル: ¥82.91 ユーロ: ¥106.78 人民元: ¥12.66 バーツ: ¥2.70

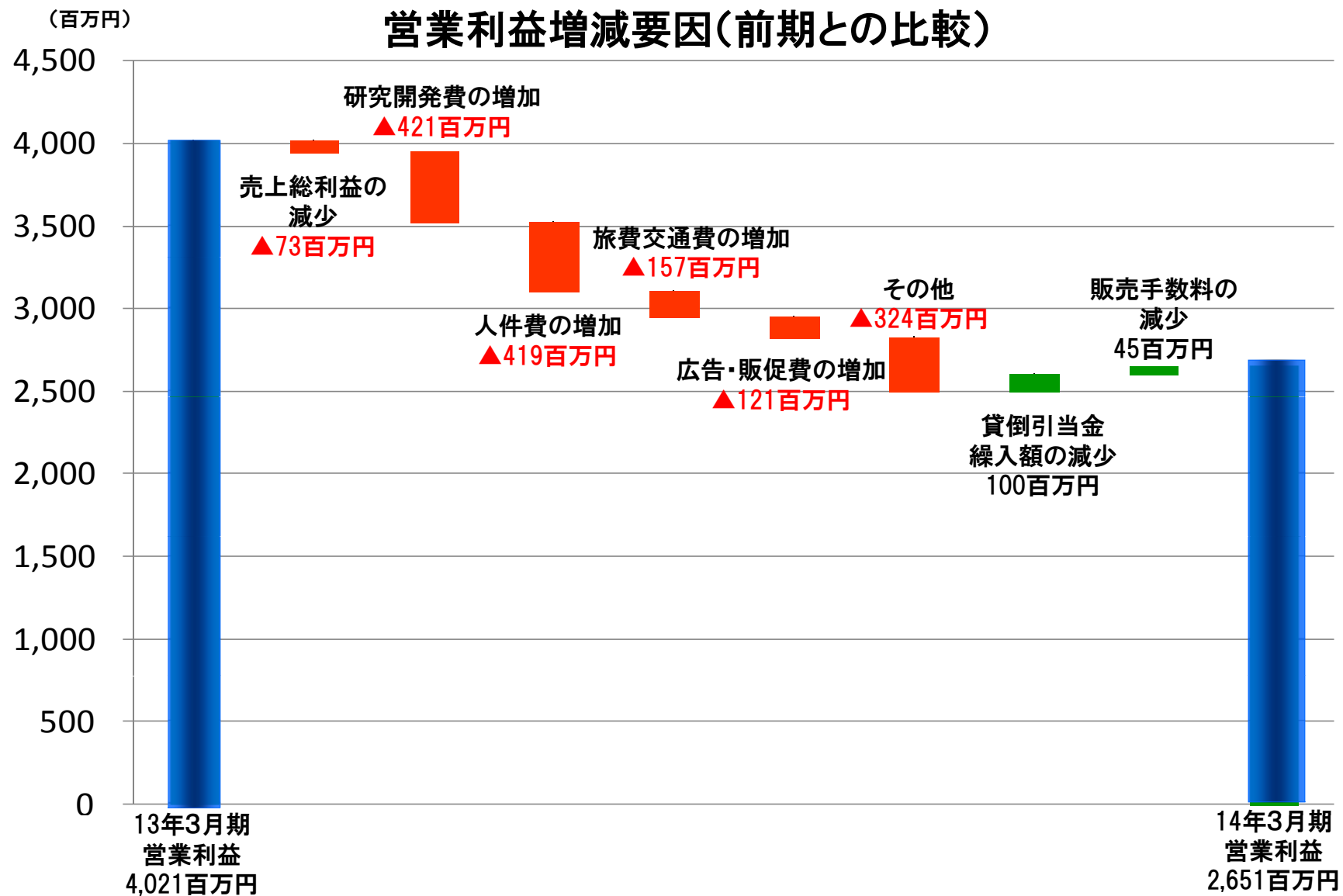
2014年3月期経営環境

海外情勢

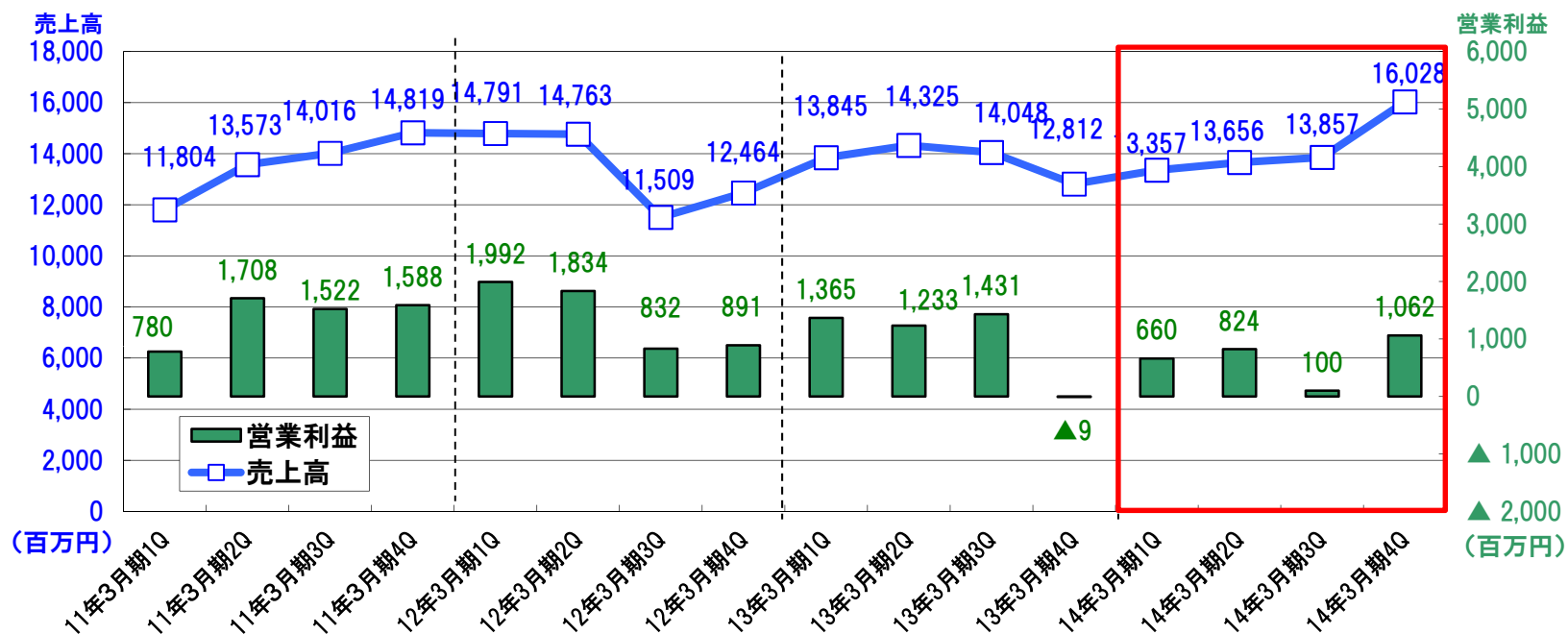
- ・米国製造業の回復
- ・欧州財政危機の鎮静化
- ・中国の景気減速懸念

国内情勢

- ・円高是正、株価上昇
- ・輸出産業が回復基調で推移
- ・消費税増税前の駆け込み需要



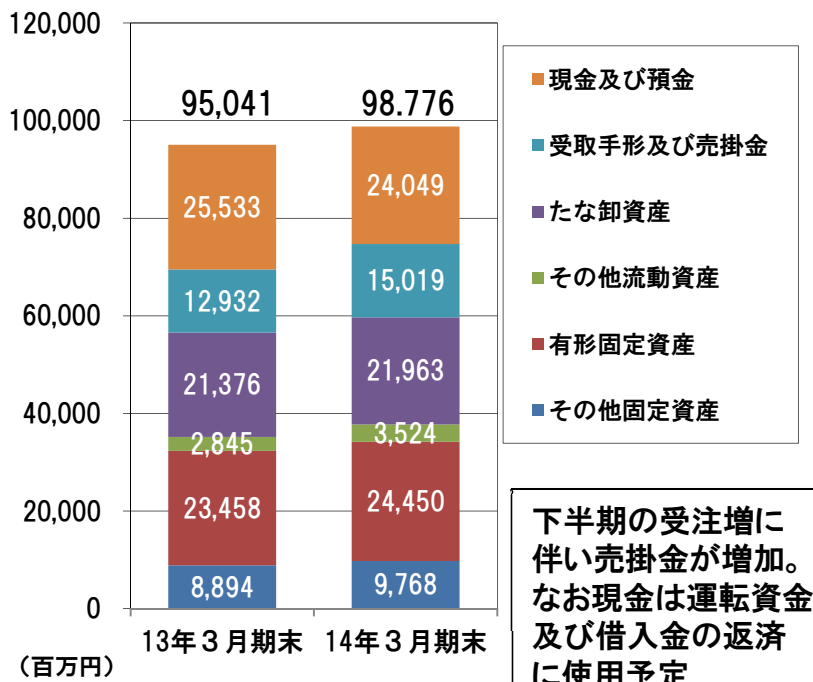
## 売上高・営業利益四半期別推移



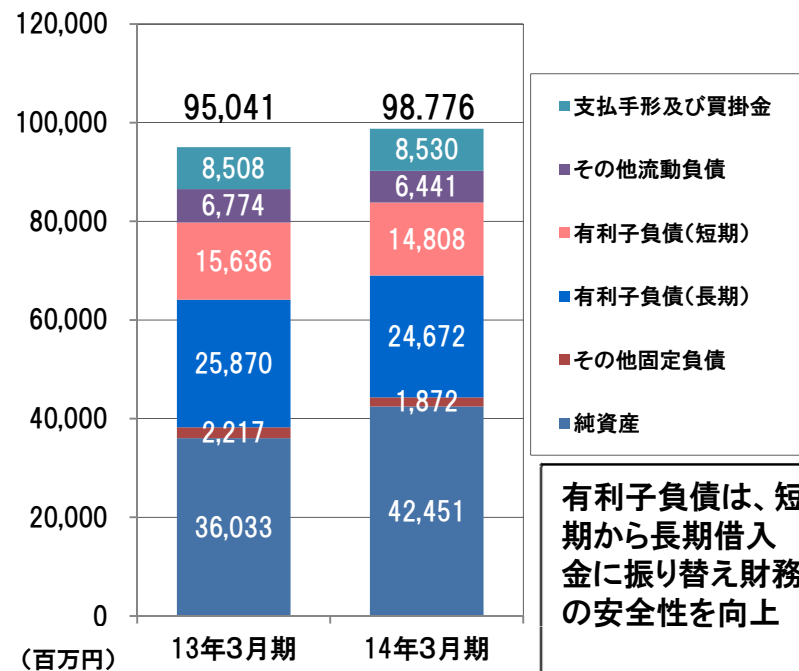
(百万円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	期中平均 為替レート
11年3月期 売上高	11,804	13,573	14,016	14,819	54,213	ドル:85.74円
営業利益	780	1,708	1,522	1,588	5,599	ユーロ:113.13円
12年3月期 売上高	14,791	14,763	11,509	12,464	53,528	ドル:79.18円
営業利益	1,992	1,834	832	836	5,495	ユーロ:109.02円
13年3月期 売上高	13,845	14,325	14,048	12,812	55,031	ドル:82.91円
営業利益	1,365	1,233	1,431	▲9	4,021	ユーロ:106.78円
14年3月期 売上高	13,357	13,656	13,857	16,028	56,899	ドル:100.17円
営業利益	660	827	100	1,062	2,651	ユーロ:134.21円

## 貸借対照表、自己資本比率の状況について

### 資産の部



### 負債・純資産の部



### 自己資本比率

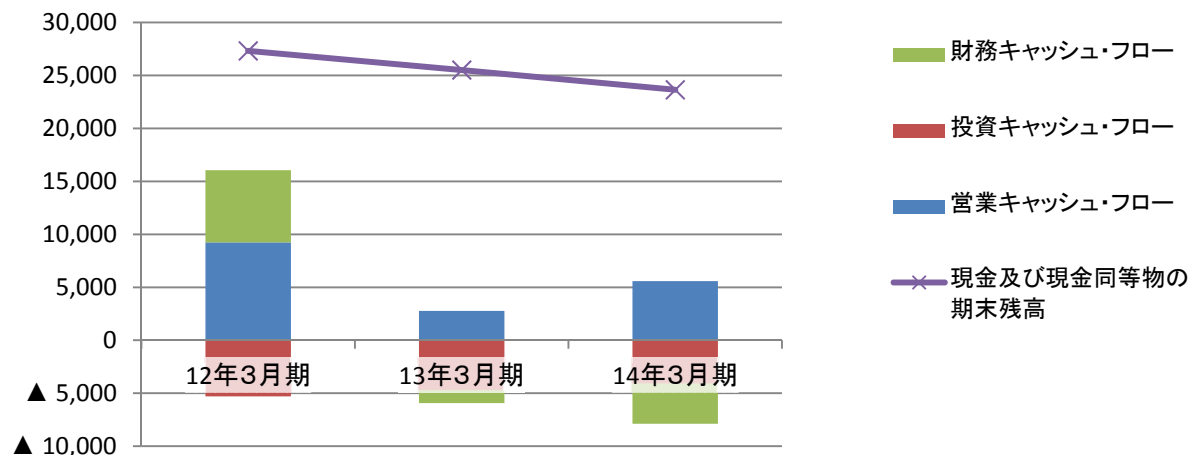
	13年3月期	14年3月期
自己資本比率	37.9%	42.9%

当期純利益、為替換算調整額の増加により自己資本比率が5.0%アップ

## キャッシュ・フロー、配当の状況について

### キャッシュ・フロー

投資CFの主な内訳は、精密成形品の生産能力増強を目的とした固定資産の取得。財務CFは、短期借入金返済による支出




(百万円)	12年3月期	13年3月期	14年3月期
営業キャッシュ・フロー	9,245	2,766	5,577
投資キャッシュ・フロー	▲5,295	▲4,776	▲4,181
財務キャッシュ・フロー	6,808	▲1,163	▲3,696
現金及び現金同等物の期末残高	27,316	25,514	23,647

### 配当について

株主資本配当率(DOE)2%以上を目標

	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	合計
13年3月期	6円00銭	8円00銭	14円00銭
14年3月期	7円00銭	7円00銭	14円00銭
15年3月期 (予定)	7円00銭	7円00銭	14円00銭



## 2014年3月期 各事業の概況について

---



## セグメントの変更について

2014年3月期 通期決算より、事業セグメントを下記の通り変更いたしました。

### ◆工作機械事業の地域別セグメントの廃止

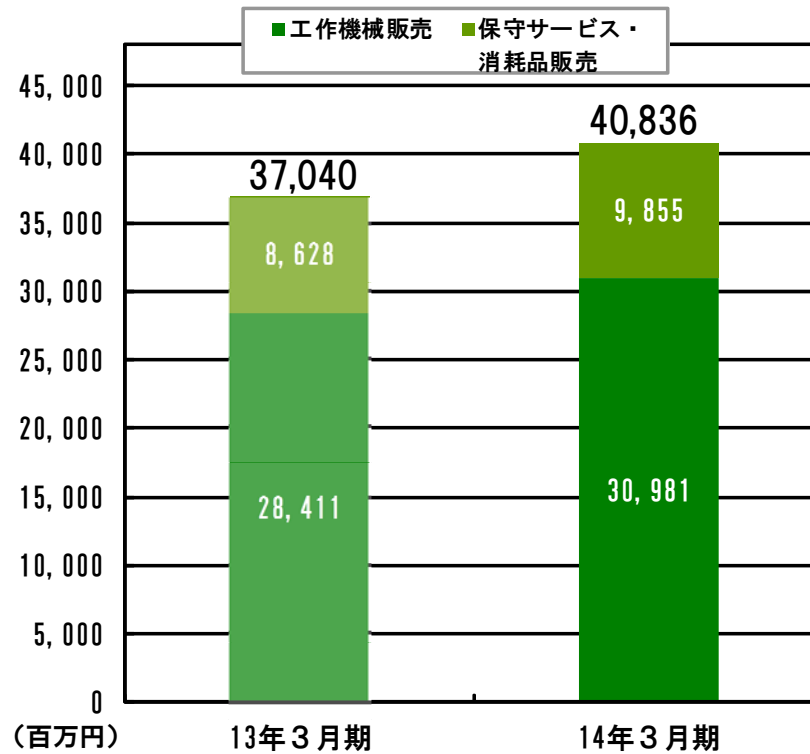
従来のセグメントでは工作機械事業セグメントを更に地域別で表示しておりました。しかし、工作機械の主な生産拠点は中国(中華圏)とタイ(その他アジア)に所在し、その製品を世界各地で販売している関係上、グループ内の商流・取引価格の変更が地域別の売上高・利益へ影響することがありました。そのため工作機械事業の市場動向や業績を把握する上で、地域別で管理する必要性が希薄であることから、工作機械事業の地域別セグメントを廃止することとしました。

### ◆その他事業への集約

精密コネクタなどの受注生産を行う精密金型・精密成形事業、リニアモータやセラミックス部材など独自技術を活かした製品の外販を行う要素技術事業は、全体の売上高に占める割合が小さく、業績への影響も小さいことから、その他事業へ集約いたしました。

従来のセグメント表示	2014年3月期通期決算からのセグメント表示								
<table border="1"> <tr> <td>工作機械事業</td> <td rowspan="5">} 工作機械事業</td> </tr> <tr> <td>  日本</td> </tr> <tr> <td>  北・南米</td> </tr> <tr> <td>  欧州</td> </tr> <tr> <td>  中華圏</td> </tr> <tr> <td>  その他アジア</td> <td></td> </tr> </table>	工作機械事業	} 工作機械事業	日本	北・南米	欧州	中華圏	その他アジア		
工作機械事業	} 工作機械事業								
日本									
北・南米									
欧州									
中華圏									
その他アジア									
産業機械事業	産業機械事業								
精密金型・精密成形事業									
食品機械事業	食品機械事業								
要素技術事業									
その他(リース事業)	その他(リース事業、精密金型・精密成形事業、要素技術事業など)								

## 売上高



	13年3月期	14年3月期	増減	増減率
工作機械販売	28,411	30,981	2,570	9.0%
保守サービス・消耗品販売	8,628	9,855	1,226	14.2%
<b>合計</b>	<b>37,040</b>	<b>40,836</b>	<b>3,796</b>	<b>10.2%</b>

## 工作機械事業について

アベノミクスにより景況感の改善した国内市場、製造業国内回帰政策により好調を維持した米国や財政危機から脱した欧州など多くの市場では回復基調で推移しましたが、工作機械販売の主要市場である中華圏が弱含みで推移。

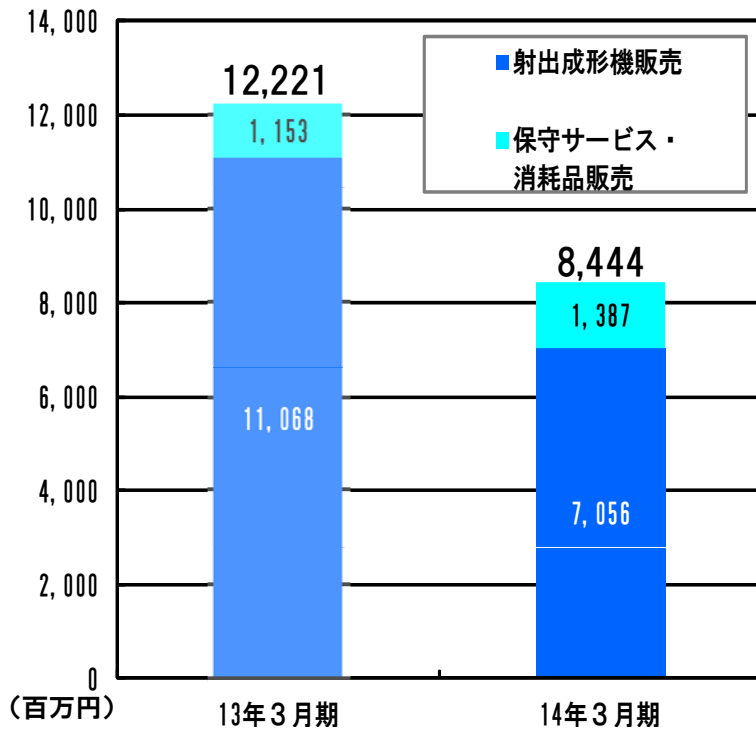


超高精度大型ワイヤ放電加工機 AP650L



ワイヤ電極線などのサプライ品

売上高



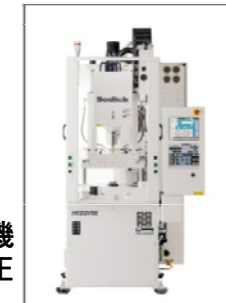
	13年3月期	14年3月期	増減	増減率
射出成形機販売	11,068	7,056	▲ 4,012	-36.2%
保守サービス・消耗品販売	1,153	1,387	234	20.3%
合計	12,221	8,444	▲ 3,777	-30.9%

産業機械事業について

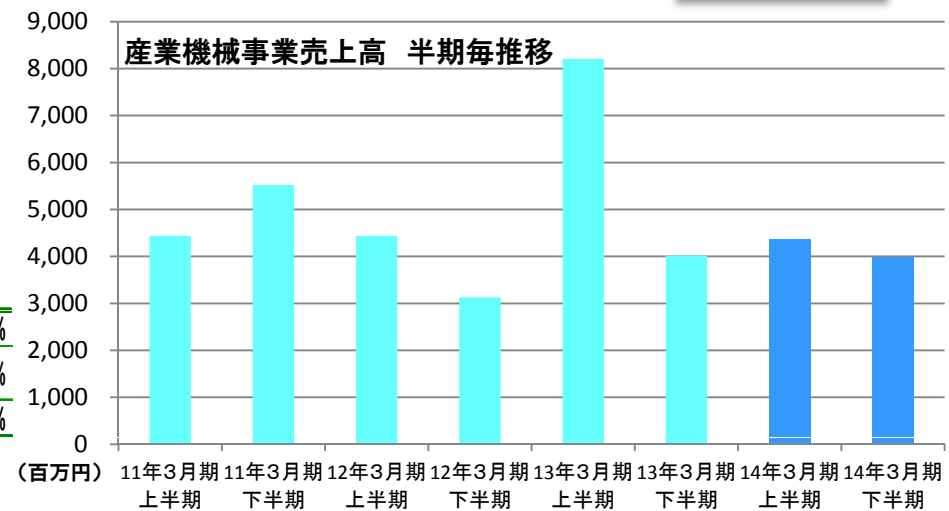
射出成形機の販売は堅調に推移したが、前期は大型案件(高単価のマグネシウム射出成形機)があったため、前期比では売上減。



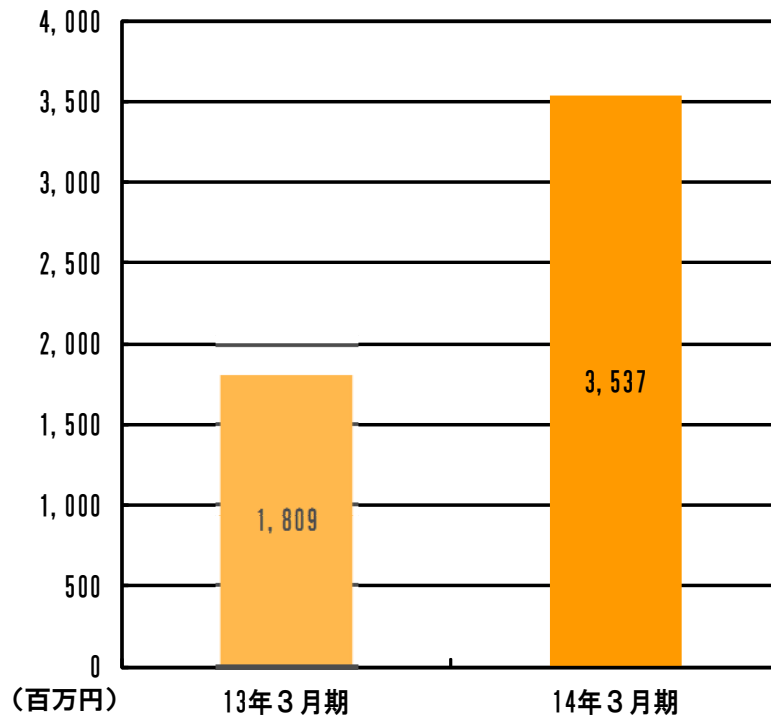
小型精密射出成形機 TR20EH3



ハイサイクル小型縦型ロータリ式射出成形機 HC03VRE



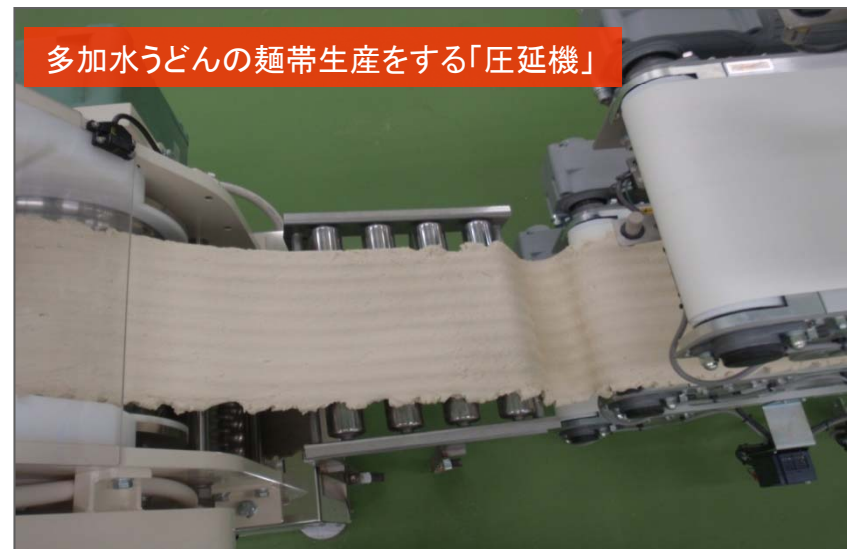
売上高



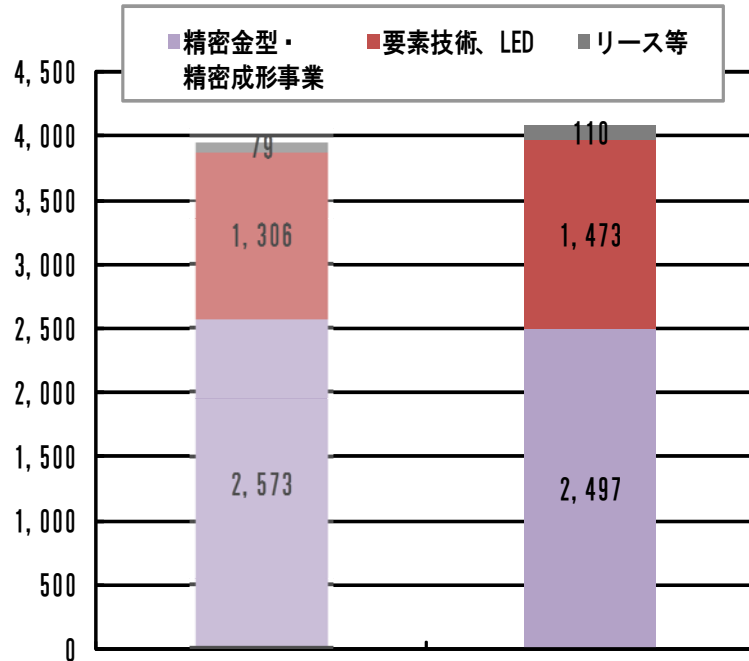
	13年3月期	14年3月期	増減	増減率
食品機械事業	1,809	3,537	1,728	95.5%

食品機械の事業について

食品機械事業は主に製麺機械の開発・製造・販売を行っております。主な需要先としてはスーパーやコンビニエンスストアで販売されているチルド麺の製造工場などがあります。事業の特徴としては個別仕様の製品が多く、受注から納品・検収まで長期にわたる傾向があることです。



売上高



	13年3月期		14年3月期	
	13年3月期	14年3月期	増減	増減率
精密金型・精密成形事業	2,573	2,497	▲ 76	-3.0%
要素技術、LED	1,306	1,473	167	12.8%
リース等	79	110	31	89.3%
<b>計</b>	<b>3,960</b>	<b>4,080</b>	<b>120</b>	<b>3.0%</b>

その他の事業について

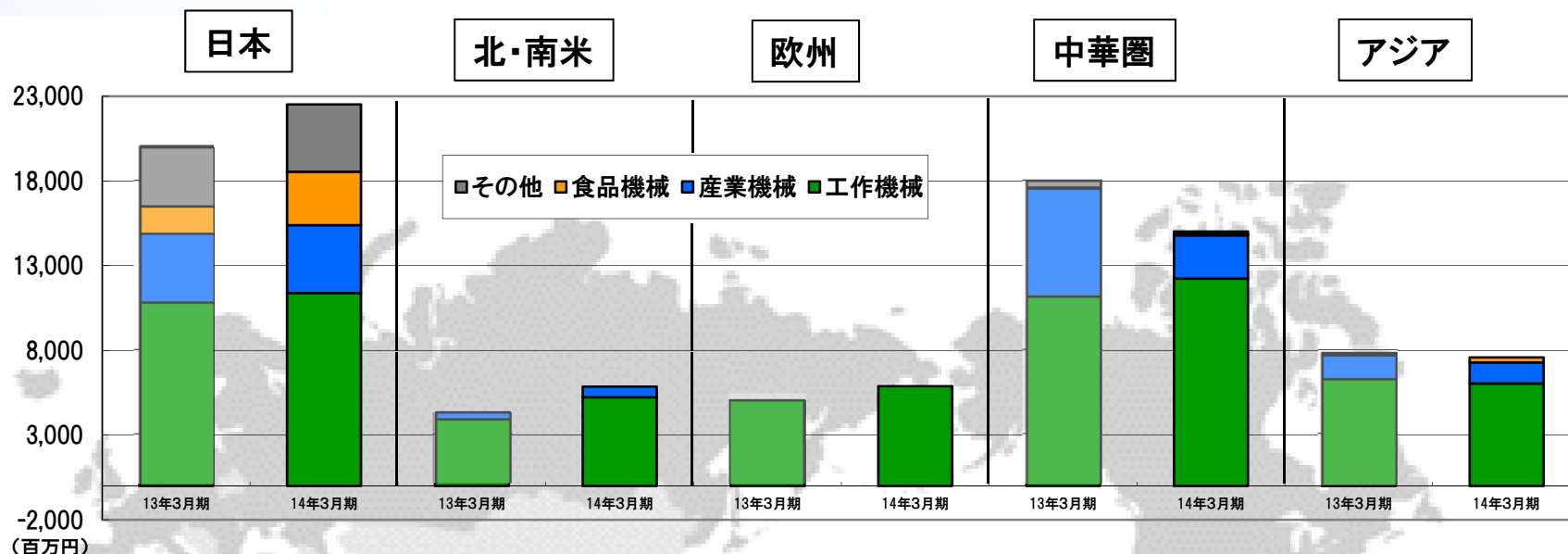
その他の事業は、精密金型・精密成形品の製造販売(旧精密金型・精密成形品事業)、モータやセラミックス製品の製造販売(旧要素技術事業)、LED照明機器の製造販売などからなっております。なお、今期よりLED照明事業が連結対象となっております。



新型コアレスモータ  
CA V3シリーズ



大光量単一光源型 投光器  
PIKA Series



2013年3月期

	日本	%	北・南米	%	欧州	%	中華圏	%	アジア	%	事業別計	%
工作機械	10,776	19.6	3,867	7.0	5,022	9.1	11,133	20.2	6,240	11.3	37,040	67.3
産業機械	4,059	7.4	435	0.8	-	-	6,354	11.6	1,372	2.5	12,221	22.2
食品機械	1,601	2.9	0	0.0	-	-	61	0.1	146	0.3	1,809	3.3
その他	3,531	6.3	-	-	-	-	426	0.7	-	-	3,960	7.2
地域別計	19,969	36.3	4,302	7.8	5,022	9.1	17,976	32.7	7,759	14.1	55,031	100.0

2014年3月期

	日本	%	北・南米	%	欧州	%	中華圏	%	アジア	%	事業別計	%
工作機械	11,424	20.1	5,231	9.2	5,893	10.4	12,240	21.5	6,046	10.6	40,836	71.8
産業機械	4,011	7.1	633	1.1	-	-	2,551	4.5	1,247	2.2	8,444	14.8
食品機械	3,147	5.5	-	-	-	-	90	0.2	300	0.5	3,537	6.2
その他	3,935	6.9	-	-	-	-	143	0.3	0	-	4,080	7.2
地域別計	22,519	39.6	5,865	10.3	5,893	10.4	15,026	26.4	7,594	13.4	56,899	100.0



## 2014年3月期 トピックス

---

第43回機械工業デザイン賞 日本力賞受賞  
SL400G/600G（日刊工業新聞社主催）

2013年“超”モノづくり部品大賞  
機械部品賞受賞 TMMアンプ  
（日刊工業新聞社主催）



高速・高性能ワイヤ放電加工機 SL400G

TMMアンプ

第24回読者が選ぶネーミング大賞アイデアネーミング賞受賞  
（日刊工業新聞社主催）

単一光源型LED投光器「PIKAシリーズ」の商品名「PIKA」が、第24回読者が選ぶネーミング大賞（日刊工業新聞社）のアイデアネーミング賞を受賞しました。従来にないLED製品にふさわしいネーミングとして考案した商品名「PIKA」の発想力が評価されました。





精密形彫り放電加工機 AD35L

ATC(自動工具交換装置)が装着可能な形彫り放電加工機として「AD35L」を開発し、販売を開始いたしました。同機は、ATCが装着できるエントリーモデルとして高い評価を得た形彫り放電加工機「AD3L」の基本構造を継承しつつ、加工タンクや加工範囲の拡大などユーザーからの要望を反映させた仕様となっています。



AD35L



SL400Q

精密ワイヤ放電加工機 SL400Q/SL600Q

リニアモータ駆動高速・高性能ワイヤ放電加工機の新シリーズSLシリーズはその革新的なスペックで高い評価をいただいておりますが、そのSLシリーズに新興国向け機種SL400Q/SL600Qをラインナップいたしました。SLシリーズは、新型電源と高速加工対応ワイヤ「はやぶさ」の組み合わせにより加工速度が従来比で最大50%向上するなど、圧倒的な加工性能を誇ります。また、タッチパネル方式の新型CNC装置を搭載し、初心者から熟練者まで容易な操作が可能となっています。

小型射出成形機 TR20EH3

射出(射出プランジャ)と可塑化(可塑化スクリュー)を独立させた射出装置(Vライン方式)と、直進・平行精度に優れた型締め装置(直圧方式)の採用により、高い評価をいただいている「TR20EH2」の後継機として「TR20EH3」を開発し、販売を開始いたしました。同機は新開発の型締め機構と総合的な動作の改善により、ドライサイクル時間を従来機比で約50%短縮可能となっており、ユーザーの生産性向上に貢献いたします。



TR20EH3



HC03VRE

ハイサイクル小型縦型ロータリ式射出成形機 HC03VRE

スマートフォンやモバイル機器の普及により世界中で需要の高まる小物精密部品の多品種化、短納期化に対応する新機種として、ハイサイクル小型縦型ロータリ式射出成形機「HC03VRE」を開発し、販売を開始いたしました。同機は金型製作期間の短い小さな金型を使い、成形をハイサイクル化することにより、少数個取り成形でも多数個取り以上の生産性を確保できるほか、少数個取り成形への置き換えにより成形サイクルが短く、多品種化する成形部品へのフレキシブルな対応が可能となっています。

世界各地の展示会に出展し、  
最新の技術と製品を紹介いた  
しました



EMO (ドイツ)



CIMT (中国)



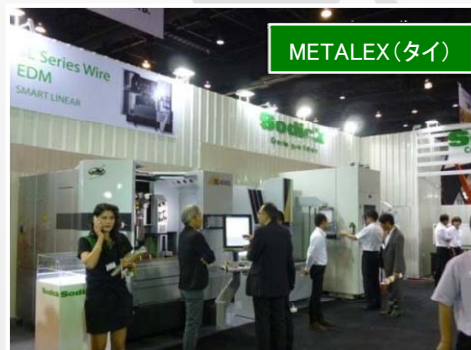
高機能プラスチック展 (日本)



INTERMOLD (日本)



IMTEX (インド)



METALEX (タイ)



DMP (中国)

期間	開催地	展示会
4/1~3	ベトナム	ハノイ MTA Hanoi
4/7~11	英国	バーミンガム Mach
4/9~13	韓国	ソウル SIMTOS
4/16~18	日本	東京 高機能プラスチック展
4/16~19	日本	大阪 インターモールド
4/17~20	インド	ムンバイ Die & Mould India
4/23~26	中国	上海 Chinaplas
5/15~18	タイ	バンコク Intermach
5/21~24	マレーシア	クアラルンプール METALTECH MALAYSIA
6/4~7	中国	上海 Die & Mould China
6/10~13	日本	東京 FOOMA JAPAN
6/17~21	中国	北京 CIMES
6/19~22	タイ	バンコク InterMold Thailand
7/8~11	ベトナム	ホーチミン MTA Vietnam
8/27~29	ベトナム	ハノイ Vietnam Manufacturing Expo
9/8~13	米国	シカゴ ITMS
9/16~20	ドイツ	シュツットガルト AMB
9/26~30	台湾	台北 Taipei PLAS
10/9~11	ベトナム	ホーチミン METALEX Vietnam
10/28~11/1	日本	東京 IPF JAPAN
10/30~11/4	日本	東京 JIMTOF
11/13~15	日本	横浜 日本ダイカスト展示会
11/13~16	中国	東莞 東莞DMP
11/19~22	タイ	バンコク METALEX Thailand

国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

## 今後の経営方針について

---

## 2014年度重点方針

### 目標

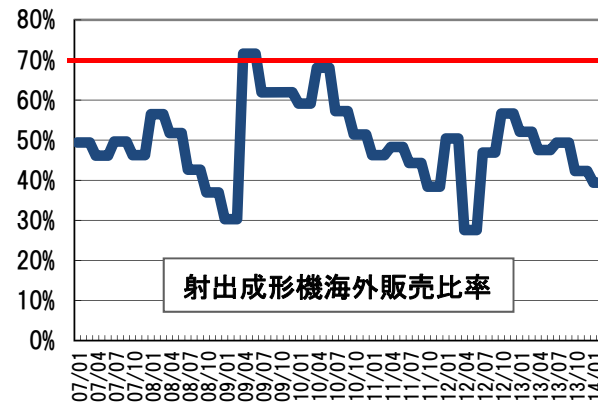
- 工作機械事業 : 放電加工機のマーケットシェアは、世界全地域で**40%以上**を目指す
- 産業機械事業 : 射出成形機販売は、国内外での販売数量増と海外売上比率**70%**を目指す



新興国向け放電加工機  
AD30L



VZ500L



射出成形機海外販売比率

海外売上高比率目標  
70%



新興国向け射出成形機  
GA100

### 方針

- **ソディックブランド**の意識向上を行う
- グローバル化の推進と国内回帰の**バランス**を考える
- 生産ノウハウ、技術開発ノウハウの見える化に努め、**若い世代への継承**を進める
- グローバルに活躍できる**若い人材の育成**を進める
- **新しい技術分野**を積極的に取り込む

## 2014年度重点方針

- ▶ **食品機械事業** : 国内ではコンビニエンスストアやスーパーマーケット向けに多加水麺の生産設備の販促、海外では中華圏のロングライフ麺、東南アジア地域の皮物(ワンタンなど)の生産設備の需要を取り込む



- ▶ **その他事業** : リニアモータや精密セラミックス部材などの要素技術やLED投光器の販売促進



LED大光量単一光源型 投光器  
PIKA series

100m先で  
新聞が読める

消費電力  
360W

家庭用  
100Vで使用  
できます

HID\*ランプと  
同等以上の  
明るさで

消費電力約 **1/4**

\*HID→High Intensity Discharge



## 2015年3月期の通期業績予想について

---

### 2015年3月期の市場環境について

- 日本国内 ……景況感の改善による投資マインドの回復、政府の生産性向上設備投資促進税制補助金などが追い風となり更新需要が期待できる
- 中華圏(中国、台湾) ……需要の急回復は期待できないものの、自動化ニーズなどを取り込む
- 欧州 ……航空機産業、自動車産業向けから時計などの小型精密向けまで幅広い分野で堅調な需要が期待できる
- 北・南米 ……北米では自動車や航空機向けに加え、エネルギー関連などの先端分野が好調を維持

#### 15年3月期 期中平均為替レート(想定)

ドル: ¥102.00 ユーロ: ¥140.00 人民元: ¥16.80 バーツ: ¥3.13

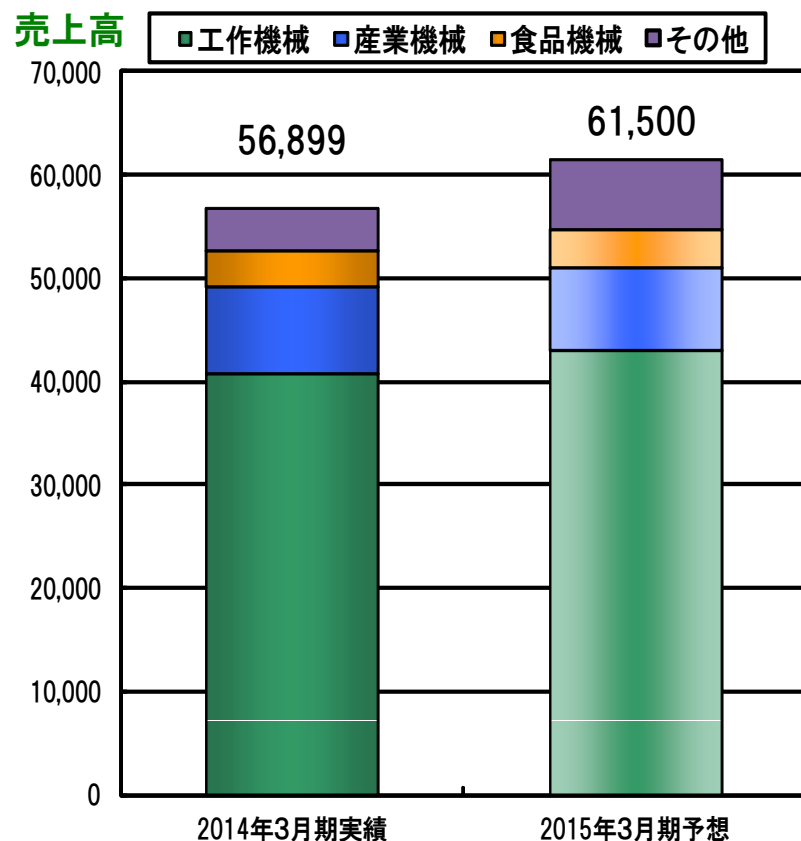
#### 14年3月期通期 期中平均為替レート(実績)

ドル: ¥100.17 ユーロ: ¥134.21 人民元: ¥15.87 バーツ: ¥3.19

(百万円)	14年3月期実績	15年3月期 上半期予想	15年3月期 下半期予想	15年3月期 通期予想	対前期比
売上高	56,899	30,000	31,500	61,500	4,601
営業利益	2,651	1,800	2,100	3,900	1,249
経常利益	3,886	1,700	1,800	3,500	▲ 386
純利益	4,194	1,300	1,300	2,600	▲ 1,594



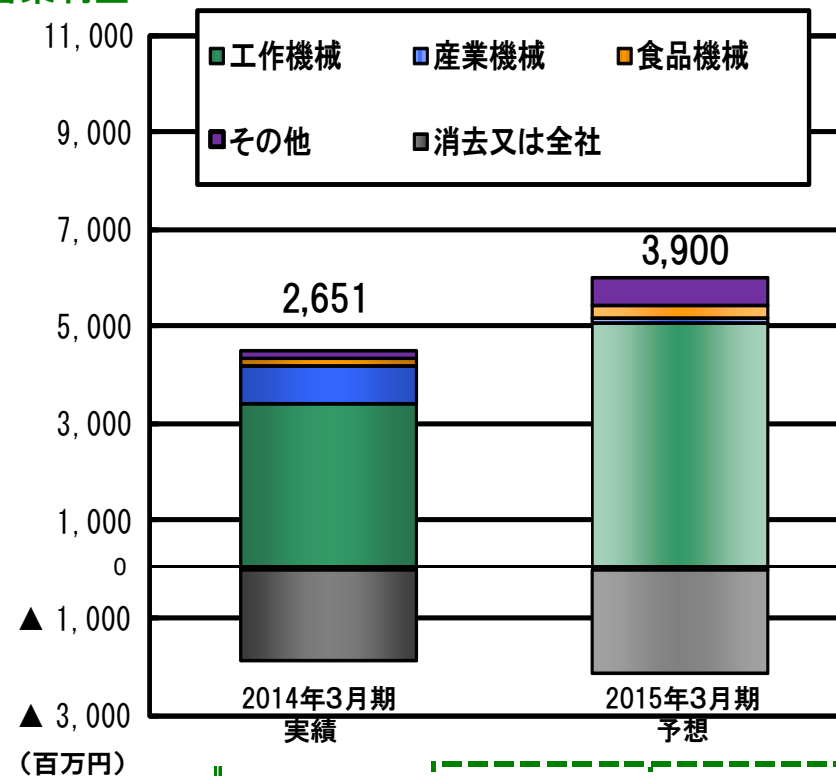
## 売上高・営業利益(事業別)の今期予想



(百万円)

	2014年3月期実績	2015年3月期予想	対前期比
工作機械	40,836	43,200	2,364
産業機械	8,444	7,900	▲ 544
食品機械	3,537	3,750	213
その他	4,080	6,650	2,570
<b>計</b>	<b>56,899</b>	<b>61,500</b>	<b>4,601</b>

### 営業利益



(百万円)

	2014年3月期実績	2015年3月期予想	対前期比
工作機械	3,436	5,100	1,664
産業機械	771	115	▲ 656
食品機械	155	260	105
その他	134	525	391
消去又は全社	(1,846)	(2,100)	(254)
<b>計</b>	<b>2,651</b>	<b>3,900</b>	<b>1,249</b>

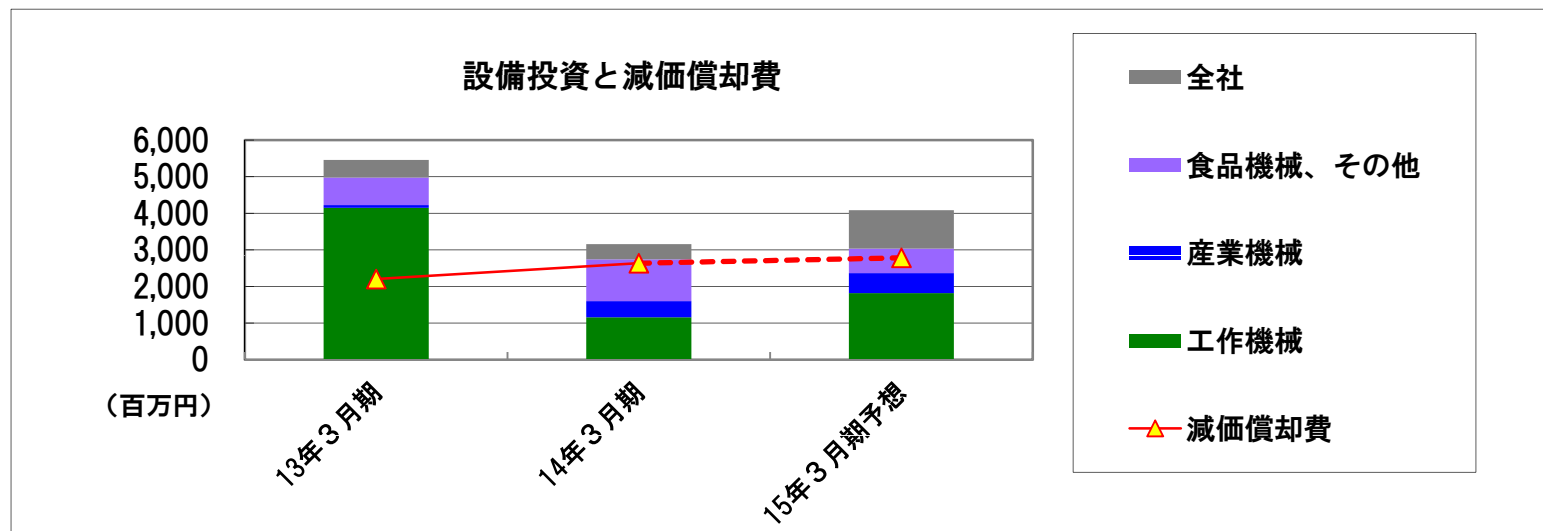
### 主な設備投資

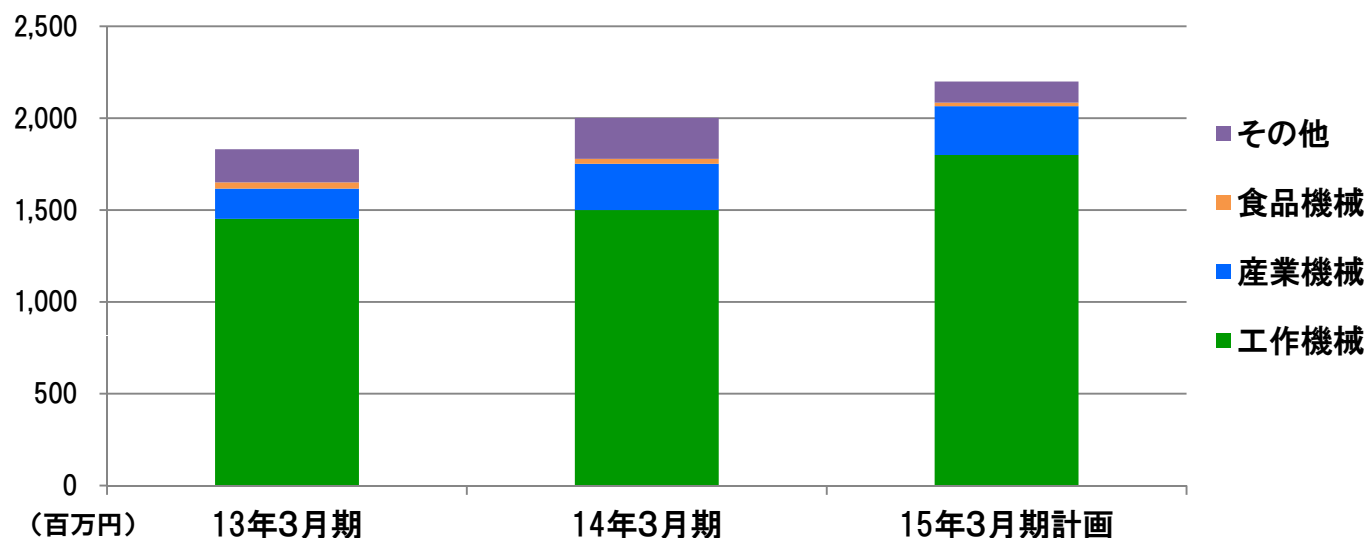
- 電子部品の生産技術(工作機械事業)の研究開発設備として約3億円
- タイ工場(工作機械事業)の小型機の生産工場、第1工場・第2工場間のインフラ整備として約2億60百万円
- サプライ品であるワイヤ電極線(工作機械事業)の生産能力増強として約2億20百万円
- セラミックス製品工場(その他事業)の生産能力増強を目的として約2億40百万円
- LED照明機器(その他事業)の研究用設備として約2億円

### 減価償却費について

#### ■減価償却費の主な増加要因について

当期においては、精密金型精密成形品の生産を行う田野工場が移転し、操業を開始いたしました。またワイヤ電極線の生産を行う宮崎工場においても生産能力の増強を図り、これにより今期の償却費は約21百万円/年増加する見込みです。また、SAPの稼働開始に伴う減価償却の開始もあり減価償却費は約52百万円/年の増加見込みです。なお、グループ全体の減価償却費の見込みは、前期比約1.5億円増の約27億80百万円を見込んでいます。





（百万円）	13年3月期	14年3月期	15年3月期計画
<b>工作機械</b>	<b>1,452</b>	<b>1,500</b>	<b>1,800</b>
<b>産業機械</b>	<b>165</b>	<b>252</b>	<b>265</b>
<b>食品機械</b>	<b>34</b>	<b>27</b>	<b>20</b>
<b>その他</b>	<b>180</b>	<b>223</b>	<b>115</b>
<b>研究開発費合計</b>	<b>1,832</b>	<b>2,004</b>	<b>2,200</b>

### 開発テーマの概要

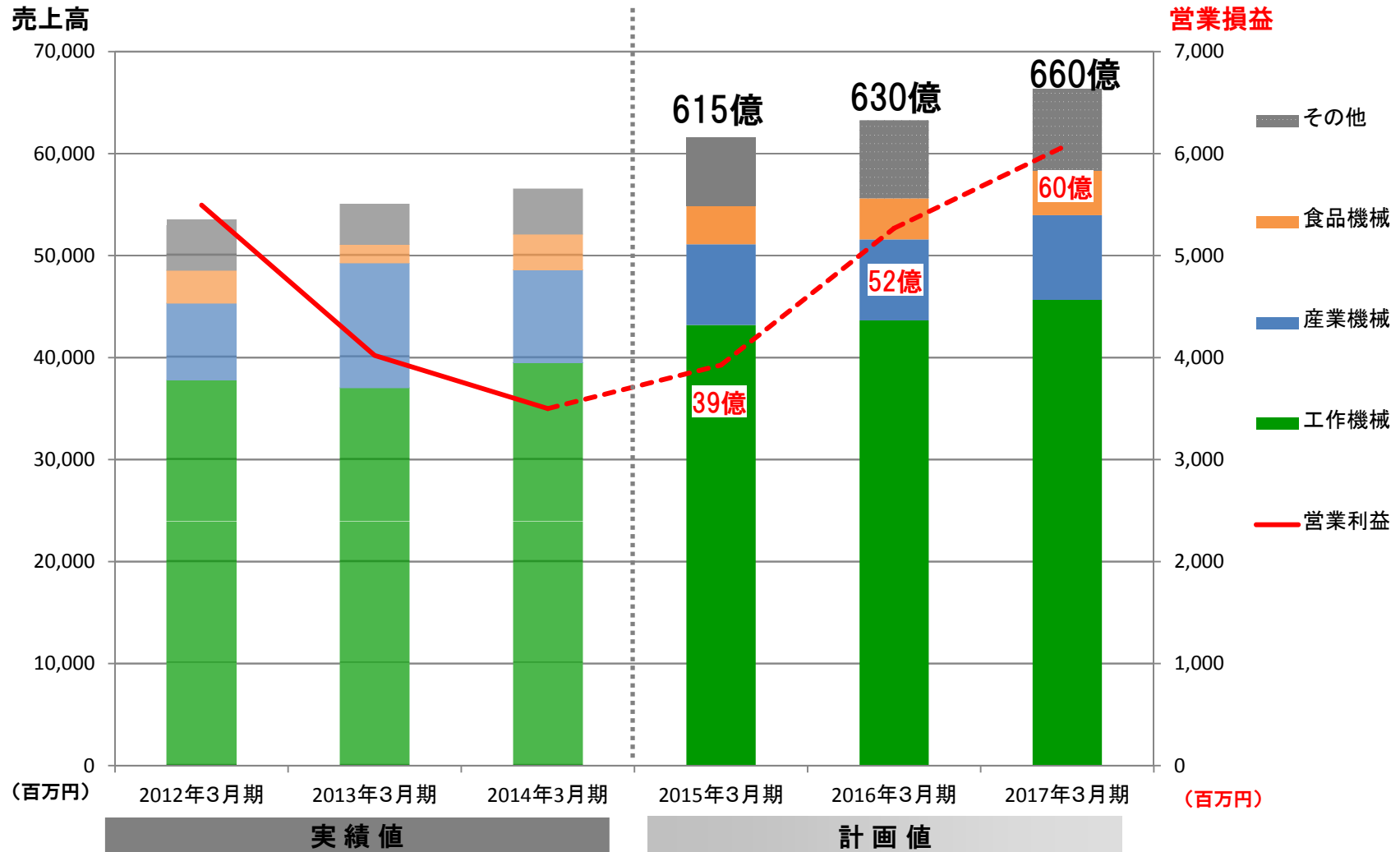
工作機械事業：次世代実装技術、形彫り放電加工機新型機、NC改良、MCの開発・改良

産業機械事業：グローバル機の開発、可塑化要素技術研究、自動化省人化対応

食品機械事業：多加水麺製造設備の開発、真空スクリュウ押し装置の開発

要素技術事業：LED投光器仕様更新

連結事業別売上高・営業損益計画値



# 御清聴いただきありがとうございます



本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。